



特集 地域の防災

今だから考えたい 地域のちから、防災のちから

菅原地域で防災活動に尽力されているお二人にお話を伺いました

菅原地域での取り組みについて

柏原さん 菅原地域では、地域活動協議会と連合振興町会が連携を図りながら、様々な取り組みを行っています。防災においては、各町会に在籍する28名の「地域防災リーダー」が、隊長の堤下さんのもと活躍しています。

堤下さん 菅原地域は、区内17連合の中で最も住民人口が多く、地域活動に参加されない方も多数。そんな中、地域にお住まい・お勤めの皆さんに広く行き届くような啓発・広報に努めています。

柏原さん 特に防災訓練は、住民の皆さんを巻き込んで菅原地域で一斉に実施しています。今年は「初動」に焦点を当て、安否確認と災害対策本部との通信の訓練をしました。良かったのは、安否確認の方法を各町会で自主的に考えてもらった点です。

堤下さん 町会ごとに、住宅の形態やエリアの規模感などが異なるため、運営側から画一的な方法を指示しても町会特性にフィットせず、実効性がないですね。

柏原さん 住民が共助し、地域の防災力を上げるためには、まずは「自分ごと」として捉えてもらうことが大切ですね。

堤下さん そのためにも、高齢者、子育て世代、一人暮らしの若者など、様々な住民に向けた発信を心がけています。その中の一つ、「ペットとの避難」をテーマにしたセミナーには菅原地域以外からの参加者も多く、多角的な取り組みの必要性を実感しました。

柏原さん また、選挙投票日の小学校での防災展示の反響も大きかったですね。防災だけでなく地域活動に興味を持ってくれる方もいて、普段お話しできない方と接するいい機会にもなりました。



菅原連合振興町会 災害救助部長 柏原 幸輝さん



菅原地域防災リーダー隊長 堤下 哲也さん

変化する社会の中での“防災”

堤下さん 平成30年の大阪北部地震や同年の台風21号・24号では、菅原地域でも避難所を開設しました。大きな災害を経て、皆さんの防災意識の高まりを感じています。また菅原地域は、淀川、神崎川による水害のリスクも抱え、日頃から「垂直避難」の大切さを啓発し続けています。

柏原さん 例えば、水害時に高層マンションを一時的に避難場所として開放してもらえるような協力など、一人でも多くの命を守るための取決めの実現をめざしたいですね。各所様々な調整が必要で簡単ではありませんが、小さな声が集まり、やがて物事を動かす大きな力になると信じて、訴え続けていくことが大切です。

堤下さん 当面は感染症の拡大防止対策のため、多くの住民が参加するような防災関連イベントは実施できないと考えています。生活様式が変化中、防災活動でも新しい対応力や発想力が求められるでしょう。「在宅避難」もその一つです。そもそも必要のない避難による避難所のキャパオーバーを避けるためにも、日頃の備蓄の大切さを改めて発信していかなければと感じています。

柏原さん これまでもTwitter「すがはらぼうさい」など、SNSで情報発信していますが、時代に合わせた「集まらずに」オンラインでできる防災活動なども必要でしょうね。

堤下さん そうですね。今、区内の防災リーダーを中心とした防災ネットワークづくりを進めています。他地域のメンバーと一緒に会議や研究会などの活動をすることで、他地域のアイデアを地域の取り組みに活かしたり、災害時の地域を越えた連携協力のきっかけになればいいと思っています。

「もしも」に備える、みんなの防災

“天災は忘れた頃にやってくる”という戒めがありますが、近年では忘れなくてもやってくる時代となりました。

大規模災害が発生した場合に、被害を軽減するために重要なのは、日頃からの備えと、近隣の方々との良好な関係です。日頃の備えといっても、飲食物品等を備蓄することや、洪水リスクを知ること、避難場所を決めておくことなどたくさんございますが、できることは全てやっていただきたいと思えます。5～8面を参考にしてください。

また、各地域では、地域防災リーダーや町会役員の方々が中心になり、自主防災活動として避難所開設訓練や救出救助訓練等を継続して行っていただいております。平成30年に起こった大阪北部地震や台風21号・24号により、実際に災害時避難所を開設した際のノウハウや反省点を共有して訓練に活かしていただいております。災害時だけではなく、身近な地域のなかで協力しあえる良好な関係があることは、普段の生活のなかでとても心強いことです。



東淀川区長 西山 忠邦

菅原地域ではこんなこともやっています!

水害に備えて水害講習会をしました。浸水想定図を拡大して自宅が何メートル浸かるか確認してもらいました。



社会福祉施設と災害時の搬送の研究会を実施しました。



ペットとの避難について学習会を行いました。



救助訓練や避難所設置など中学生と一緒に学びました。



多くの方が訪れる選挙投票日の小学校にて“災害時避難所公開DAY”として避難所にある物資等を展示することで、避難所のことを知っていただくことができました。



町会ごとに防災マップを作成しました。

広告

特集

水害に備える

詳細は 5 ▶ 8 面へ

安全安心 1階8番 ☎4809-9820